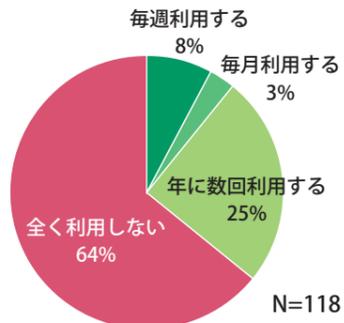


アンケート結果

「シエキノカワでピクニック。」会場には計316人の来場がありました。そのうち119名の方々にアンケートに答えていただくことができました。結果の一部をご紹介します。

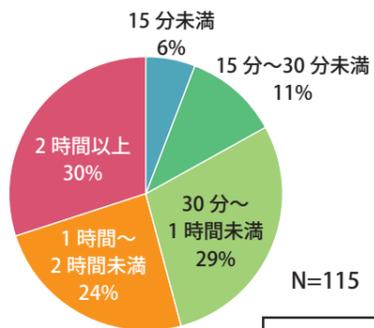
Q. 日常的に紀の川の河川敷を利用しますか？
(河川敷の広場や公園を含む)



6割以上の方は紀の川河川敷を全く利用しておらず、今回の実験は河川敷の魅力に触れる貴重な機会になったと考えられます。

Q. 滞在時間はどのくらいでしたか？

※滞在中の場合は予定時間を回答。

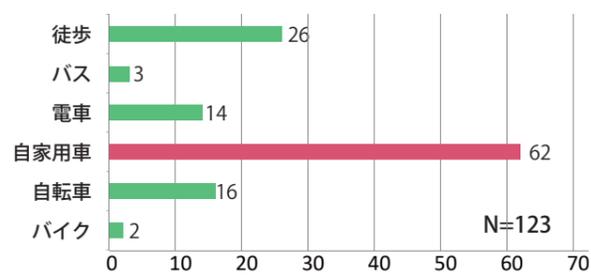


平均滞在時間：83分

平均滞在時間は昨年(市駅前通りの芝生エリア)より50分長くなりました。最長で6時間滞在した人もおり(昨年は最長2時間)、多くの来場者にゆったりと時間を過ごしていただくことができました。

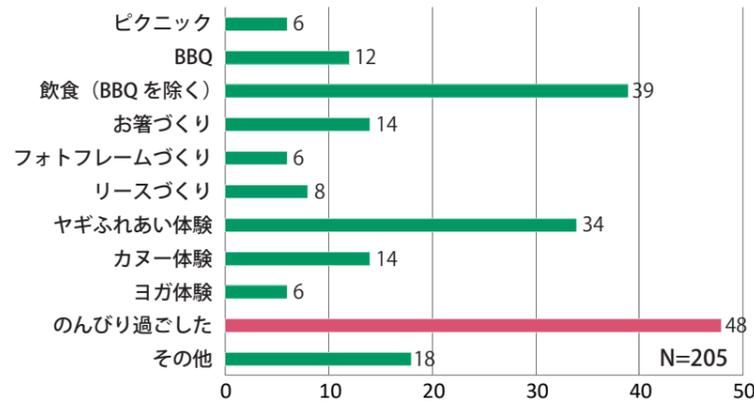
※全てのアンケート結果は市駅GGPホームページでも公開しています。▶<https://shiekigpp.wixsite.com/wakayama-ggp>

Q. 今日どの交通手段を使って来られましたか？
(複数回答)



会場へのアクセスは公共交通機関と徒歩を推奨していましたが、自家用車が最多となりました。市駅から歩いて10分圏内の立地でしたが、道が分かり難いというご意見もあり、誘導サインを充実させ、他の交通手段の利用を促進する必要があります。

Q. 会場でどのように過ごしましたか？(複数回答)



滞在時間の長さを反映し、ここでも「のんびり過ごした」という回答が最も多い結果となりました。「ピクニック」という回答は6件と少ないですが、飲食や体験プログラムも含め、広い意味でのピクニックを楽しんでいただけたのではないかと思います。

編集後記

今年度の社会実験は、会場を市駅前通りから紀の川河川敷に移したことで、多くの新たな経験やチャレンジがありました。台風の影響による延期、企画の練り直しなど、屋外の公共空間を対象とした取り組みの難しさもあらためて感じました。それを乗り越えて無事に実施できたのも、関係者並びにご協力いただいた全ての皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。これからも人との繋がりを大切に、市駅周辺のまちづくりに尽力していきたいと思っております。

本号より、市駅まちづくり通信のデザインをリニューアルしました。まちづくりの芽が着実に育つことをイメージしています。今後ともよろしくお願いいたします。

和歌山大学観光学部永瀬研究室 3回生
【編集担当】三浦佳穂・尾崎綾音

市駅GGP 2018 関係者・協力者一覧

(敬称略・順不同)

- ▶主催：市駅「グリーングリーン」プロジェクト2018 実行委員会
 - ▶共催：一般社団法人市駅グリーングリーンプロジェクト、市駅まちづくり実行会議【構成団体：市駅地区商店街連盟(市駅前中央商栄会、市駅東商店街組合)、城北地区自治会(19区、20区、22区、23区、24区、35区、36区)、和歌山大学観光学部永瀬研究室】
 - ▶企画：一般社団法人市駅グリーングリーンプロジェクト、和歌山大学観光学部永瀬研究室
 - ▶協賛：竹中工務店・南海辰村建設・浅川組建設工事共同企業体、中谷クリニック、松下正和、ファーストビルパーキング
 - ▶後援：和歌山県、和歌山市、和歌山市教育委員会、和歌山商工会議所、和歌山県観光連盟、(一社)和歌山市観光協会、南海電気鉄道株式会社、和歌山バス株式会社
 - ▶シエキノカワでピクニック。協力者一覧：城北地区連合自治会、雄湊地区連合自治会、本町地区連合自治会、和歌山市立伏虎義務教育学校育友会、孫市の会、有限会社福島商店、株式会社峯、わかやま農業協同組合、和歌山県キャンプ協会、株式会社玉林園、株式会社星田建設、池内興業合同会社、株式会社タカショー、大彦株式会社、NPO法人和歌浦湾海業、株式会社メガチューブ、株式会社未来図、株式会社コトブキ、ユタカ交通株式会社、株式会社susquatch、一般社団法人みんとしよ、和歌山大学観光学部、和歌山大学COC+推進室、和歌山大学観光学部広川LIP、Wadai Creators Tio、WSP(和歌山大学宇宙開発プロジェクト)、和歌山大学ジャズ研究会 Uncle Jam、和歌山大学アカペラサークル和音、和歌山市企業局、わかやま水辺プロジェクト、エディーカヌースクール、めぐみと森のようちえん、中西重裕、豊原弘恵、雑貨と珈琲 まめきど、上神の郷地援団サポーター、JUICE trico、プレミアムdartコーヒー、大彦株式会社、連舞ヨガスタジオ、和歌山環境ネットワーク
 - ▶市駅まちぐるみミュージアム 協力者一覧：lilipiente、タキガワメガネ、ファミリーショップ クイノセ、piatto城下町の八百屋さん、和歌山市立こども科学館、をぐらや、kama〜愛〜、ClairパレエAYAKO、ペにや着付教室、田中やすの、家具ノ谷沢、和み朗読教室、本屋プラグ、和歌山市立図書館、ベルファン、和歌山市立博物館、酒の道場 花野酒店、出来助本店、南海電鉄和歌山支社、フランス料理 ラパン、和風喰感ふぁみーゆ、御晩菜さち庵、パスタ屋ミラノドゥーエ、レモネードカフェ、パンブラスクルトン、総本家駿河屋、むすび家、石窯ポポロ
- 「シエキノカワでピクニック。」当日は、他にも多くのボランティアスタッフや地域の方々にご協力いただきました。ご支援ありがとうございました。

市駅まちづくり通信 13

市駅「グリーングリーン」プロジェクト 2018

第13号 2019.1.22 発行：市駅まちづくり実行会議 編集：和歌山大学観光学部永瀬研究室



今年度の「市駅「グリーングリーン」プロジェクト2018」は、「市駅とまちと紀の川の可能性を体感する社会実験」をテーマに実施しました。「シエキノカワでピクニック。」では、市駅近くの紀の川河川敷を市民の日常に憩いと潤いを与える公共空間として活用し、新たなライフスタイルの提案を試みました。3年目となる「まちぐるみミュージアム」も新たな企画を盛り込みパワーアップ！

河川敷を憩いの空間に！

これまでの市駅「グリーングリーン」プロジェクトでは、市駅前通りを「緑と憩いの広場」にする社会実験を実施してきました。今年はそのコンセプトを受け継ぎつつ、南海和歌山市駅から徒歩7分という紀の川に着目し、「シエキノカワでピクニック。」と題して、河川敷の魅力を感じ取る社会実験を11月18日(日)に実施しました。現在は少年野球や散歩などの利用に留まっていますが、広々とした河川敷は多くの可能性に満ちています。そこで開放感あふれる紀の川や橋の眺めを背景に、河川敷でさまざまなコンテンツが楽しめる企画を用意しました。当初予定していた9月の開催は台風21号の影響により延期となりましたが、当日は爽やかなピクニック日和に恵まれ、県内外から約350名の方々にご来場いただき、老若男女問わず幅広い年齢層の方々が、心地よい時間を河川敷の芝生広場で過ごす姿が見られました。

今回「シエキノカワひろば」と名づけた会場(紀の川第5緑地の一部)は、地域の方々や関係者の協力により草刈りや清掃活動を行い、芝生のピクニック広場として整備することができました。



一般社団法人を設立しました！

一般社団法人 市駅グリーングリーンプロジェクト (英文字 SHI-EKI GLEAN GREEN PROJECT)

2018年7月17日に、和歌山市駅周辺の商店街・自治会・大学の連携による「市駅まちづくり実行会議」をまちづくりの情報共有・合意形成のための組織として維持しつつ、より実効性のある持続的な取り組みを進めるため、同会議のメンバー有志により、市駅地区のエリアマネジメントを担う実働組織を新たに設立しました。

わかやま市民協働大賞 受賞しました！

これまでの公民学連携による社会実験の取り組みが評価され、市駅「グリーングリーン」プロジェクト～市駅前通りを緑と憩いの広場にする社会実験～が2018年度の「わかやま市民協働大賞(優秀賞)」を受賞しました！ご参加・ご協力いただいた全ての皆様にご感謝申し上げます。今後の取り組みについてもご協力のほど、よろしくお願いいたします。



シエキノカワでピクニック。 2018.11.18 開催



フードエリア

フードエリアでは、JA 愛菜てまりっこによる野菜販売、市駅前中央商栄会、プレミアム dart コーヒー、和歌山大学観光学部広川町 LIP、めぐみと森のようちえんによる飲食物の販売が行われました。食べ物を持ち寄り、近くに設置されたパラソル付きテーブルセットに座ってつるぐ様子が見られました。

BBQスペース

事前予約制の BBQ 参加者は、普段は規制されている河川敷の公園区域での BBQ を存分に楽しんでいました。BBQ コンロとともに設置された防災用かまどでは、実際にかまどを利用して焼かれた出来立ての焼き芋が振る舞われ、とても好評でした。



ピクニックエリア

紀の川寄りに設けられたピクニックエリアでは、ハンモックに寝そべってつるぐ親子や、イスに腰掛けて音楽ステージを楽しむ人々など、のんびりとした雰囲気の中、芝生の上で自由に思い思いの時間を過ごす様子が見られました。なかでも、普段はあまり機会のない「ヤギとの触れ合い体験」は、子どもたちに大好評でした。

ものづくり体験

大工道具のカンナで木を削り、オリジナルのお箸をつくる体験や、チェキで撮影した写真を飾るフォトフレームづくり、季節の植物を使用したリースづくりなど、さまざまなものづくりの体験企画を実施しました。小さな子どもから大人まで、幅広い年代の方々が参加し、河川敷の開放的な空間で手づくり体験を楽しむ様子が見られました。

カヌー体験

雄大な紀の川の水面から身近な自然を体感できるカヌー体験を開催しました。2人乗りカヌーで3組ずつ3回実施し、全てが満員となりました。当日は晴天のなか、インストラクターの指導のもと初めてのカヌーを親子で満喫する姿が見られました。橋や川沿いのまちの眺めなど、普段は見ることない水辺の風景に触れ、身近な紀の川の魅力を再確認できる機会となりました。



シエキノカワひろば 会場図



クイズラリー

市駅前商店街に設けられた案内所からシエキノカワ会場までの道筋にクイズパネルを設置し「紀の川とまちの記憶をたどるクイズラリー」を開催しました。市駅周辺と紀の川の懐かしい写真にちなんだ問題は少々難易度が高めだったようです。全問正解者は少ない結果となりましたが、意外と知られていない紀の川周辺の歴史を再発見することができ、参加者には好評でした。



市駅まちぐるみミュージアム 2018.9.1 ~ 9.9 開催

和歌山市駅からぶらくり丁周辺の店舗・公共施設にて、特別な体験やツアーなどのプログラムを提供する「まちぐるみミュージアム」に加え、今年は飲食店にて特別メニューの提供などを実施する「まちぐるみレストラン」も開催しました。まちぐるみミュージアムでは、今年も多くの関係者の協力により、27の多彩なプログラムが企画されました。参加者アンケートの結果からは、それぞれのプログラムはおおむね楽しんでいただけたようです。一方で2つ以上参加した人は少なく、本来の目的である店舗のつながりを生み、まちの回遊性を高めるという点は十分に達成できていません。また広報面の強化も、依然として課題と言えます。

- 【まちぐるみミュージアム プログラム一覧】**
- 1 スワッグづくり
 - 2 1からつくる! だてメガネ or オリジナルサングラス
 - 3 きもの生地で作る造花
 - 4 ピクルスづくり体験
 - 5 ふくろう笛をつくる
 - 6 招き猫絵付け体験
 - 7 カンナでおはしを造ろう!!
 - 8 ヨガ & コアトレーニング
 - 9 SUNSET ヨガ
 - 10 パレエ・ピラティス体験
 - 11 着付けいたします!
 - 12 雑賀孫子体験コーナー
 - 13 太極拳で健康に!
 - 14 福祉用具体験コーナー
 - 15 朗読体験会
 - 16 よるずまち一箱古本市
 - 17 幼児おはなし会
 - 18 英語えほんの読み聞かせ
 - 19 絵本と紙芝居のよみきかせ会
 - 20 戦国時代の紀州の古文書を読む
 - 21 アートドール展
 - 22 火縄銃やそれにまつわる道具展
 - 23 こどもビデオシアター
 - 24 えるシアター
 - T1 紀の川周辺の歴史を巡る! サイクリングツアー
 - T2 南海和歌山車庫見学会
 - T3 和歌山西国三十三か所めぐり
- 【まちぐるみレストラン プログラム一覧】**
- 1 メイン選べるピストロランチ
 - 2 ワンランク上のお得なランチ「ステーキ・ビーフシチュー」
 - 3 「鍋焼うどん」
 - 4 特別ランチコース
 - 5 甘酸っぱさがなつかしいフルーツクリームサンド
 - 6 選んでお得なパンセット
 - 7 老舗のひんやりデザート「きなこ・抹茶かき氷」
 - 8 絶品おむすび
 - 9 期間限定バルセット

